

新型コロナウイルス雑感(4)

2020年7月24日

小高俊明

1. 2020東京オリンピック・パラリンピック1年延期表明 (3月24日発表)

今日(7月24日)は本来ならば国立競技場で華やかに開会式が開かれた日で、少なくとも東京はオリンピック一色に包まれ、人々は好景気に浮かれていたに違いない。

それがどうだろう、この変わりようは……。今日を挟んだ前後4連休は実は開会式前後の交通渋滞、混雑対策のための連休であったことをすっかり忘れていた。

新型コロナのために「三密」「自粛」を強く要請された結果、大きな経済の落ち込みに直面してしまったが、今度は「自粛」から一転して「Go to キャンペーン」へと様変わり。なにが正解か分からず政治家も経済界も事業者も頭が痛いことだろう。

オリンピックを目指すアスリートたちには気の毒としかいう言葉がない。

姿の見えない悪魔のような新型コロナはおごり高ぶった人類への警告として、我々に厳しい反省と試練を突き付けているのではないだろうか。

*「**人類が新型コロナウイルスに打ち勝った証として完全な形でのオリンピック開催をするため約1年延長することとした**」というような格調の高い表現で首相が発表した。

完全な形とは「2020オリンピックで予定していた参加国206国、17日間、33競技339種目、9都府県で約1万人参加(除パラ)」と思うのが素直な受け止め方で、それは無理ではないか?と思ったのは私だけではあるまい。

「新型コロナは国難!」と叫ばれたが、その後の対応は責任逃れや選挙を意識したもので、真剣に国難に立ち向かっているととても思えないお粗末さで目を覆うばかり。

口先だけの表現が多すぎての責任逃れに憤慨するこの頃。

*今や「**ウイズ コロナ** (今後はコロナとの共存を前提とした日常生活を考えよう)」を容認せざるを得なくなった。

これから第2波、第3波の恐怖、治療薬・予防薬もまだ治験段階、冬のインフルエンザの脅威、医療体制の整備・再構築などとても来年夏までに万全なんて考えられない。

比較的医療体制が整っており、民度の高い?日本が仮に開催可能な環境になったとしても途上国、紛争地域などは論外である。南半球ではこれから冬を迎え、ウィールスの活動期であることを考えると「1年後に規模を縮小して開催」とか、「イヤ更にもう1年延期或いは××××???」とかの意見が出ているが、これらの意見は「日本は開催国としてOKになる(他国は別として)」という目線からではないか?

仮に開催国として受け入れ態勢ができて(無理と思うが)、不完全な形であっても開催に持ってこうとするかもしれないが、その前にやるべきことはコロナに悩む国々への様々な支援をし、結果として多くの国がオリンピックに参加できるようにバックアップするのが開催国であるわが国の役割ではないだろうか?

考えたくないが、オリンピックの延期や中止に伴う経済的な損失に加えて、オリンピック景気が消滅となった場合、大変な問題が発生するに違いない。今から想定できる影響、対策は想像しただけ

でも恐ろしいが、まじめな論議は、今はまだタブーのようだ。

***オリンピックの在り方がこのままでいいのか？ 早期に、大胆に見直すべき！**その理由は：

- ① 露骨な商業主義的傾向は強くなるばかりで、特定の国、団体、個人の利権の対象になっており、歪んだスポーツビジネスになってしまっている。

様々な段階で汚いカネが、今や半ば公然と動いていると言われ、東京オリンピックの開催国の決定の際も例外ではなかったと言われている。

- ② 開催は金持ち国か都市でないと運営できない。規模は肥大化、豪華を競い合うようになり、利権がらみの噂にはうんざりだ。汚れたスポーツにたくない。

- ③ 金メダル至上主義で、アスリートが金メダルを取るためには莫大な資金が必要（高価な競技用具購入、専用練習施設、専用トレーナー、専属技術顧問、専属栄養士、国内・海外遠征試合、海外トレーニング、海外滞在などなど）となるが一般的にはスポンサー、公的支援に頼らないと到底費用をまかなえない仕組みになっている。

スポンサーは商業的価値として結果のみを求める。金メダルの数を競う愚行。

「オリンピックは勝敗ではなく、参加することに意義がある」という言葉は今のオリンピックには「異議がある」と言いたくなる。負けた時の言い訳のための言葉に変わった？

- ④ ドーピング汚染。今や新薬開発が進んで検査、摘発が追い付かない。

- ⑤ ギリシャ発祥の古代オリンピック（BC 776～AD 393）はゼウスの神を祀るための4年に一度の奉納競技で293回も続いたそう。参加の都市国家は競技とその前後の移動日の間2～3か月間は、お互いの戦争、紛争は一切中止。

そしてこのオリンピックは運動競技だけでなく、文芸競技（詩歌、演劇など）も併催だったらしい。これらのことが**オリンピックは平和の祭典**と言われる由縁だ。

2. それではどのようなオリンピックが望ましい？

*新オリンピックは4年に一度、運動競技と文芸競技の二本立てとする。

*オリンピックは複数の国や都市の開催（主催と協催）を原則とする。

*従来の運動競技は毎年各地での世界選手権を最終とするが、オリンピック該当年だけは、世界選手権での競技を準決勝までとし、決勝戦はオリンピックの会場で行い、優勝者・チームを表彰する。即ちオリンピックでは予選はしないで決勝戦のみ。

*団体・個人競技（綱引き、力自慢、民族ダンス、楽器演奏行進など）も種目に入れる。

*入場式は華やかに行ってもよいが、考え方としては万国博覧会的なイメージで期間は1週間以内とし、どの国でも参加、開催できる開放的なイベントで、特にスポーツ振興に重点をおいたものとする。

以上近年噂されているオリンピック運営に対する改革の必要性について日頃の不満を叫んでみたが、それだけではつまらないので、しからば・・・と、「自粛」のための余裕時間に未熟で大胆な考えをでっち上げるのも面白いことだと思った次第 以上